

KPECnews

Vol.62

2017.6.1

Kitakyushu Prosperity Enrichment Council

c o n t e n t s

- 01-02 「ギラヴァンツ北九州」特集
- 03 産業人材育成フォーラム事業、
「もったいない総研」の紹介
- 04 小学校応援団の活動紹介
- 05 1000人の夢寄金の活動紹介
- 06-07 北九州イノベーションギャラリー事業の紹介
- 08 平成29年度事業計画
- 09 KPECの成り立ち
- 10 寄付事業の立ち上げ

KPEC

公益財団法人 北九州活性化協議会

北九州イノベーションギャラリー 開館10周年記念

木・和・美の技 「木創りの道具たち」展

KIGSの目的は、技術とデザインを融合させ数々のイノベーションを成し遂げてきた先人たちの知の遺産を未来につなげ、新しいイノベーションを創出する力を育むこと。KIGS開館10周年記念事業は、古来より木の機能美を活かした様々なものづくりの中に、日本の伝統を脈々と引き継いできた“木のものづくり”とその技を極める道具に焦点を当てた木・和・美の技の特別展。

※写真は、大木を引く大鋸「前挽大鋸(まえびきおが)」





子どもに夢と感動を!街に誇りと活力を!

ギラヴァンツ北九州



かつては有数の企業スポーツ文化を誇った北九州地域では重工業が不況にあえぎ、次々と企業クラブが廃部に追い込まれていきました。そういったさなかの2001年、前年九州リーグを脱会した新日鐵八幡の選手・スタッフを加えて、三菱化成サッカー部を母体としたクラブ「ニューウェーブ北九州」が創立されました。

1. ギラヴァンツ北九州の軌跡

2007年、監督に与那城ジョージを招聘して転機を迎え、九州リーグ初優勝、さらに全国地域リーグ決勝大会でも準優勝しJFLへ昇格。スポーツで街を明るく、楽しくしようとする「Jリーグ百年構想」に共鳴していたクラブは即刻、Jリーグへ準加盟申請し、株式会社設立やチーム名変更を条件に承認されました。

ギラヴァンツ北九州においては、トップチームの強化はもちろん、財政基盤の整備やシニア健康教室、キッズサッカークリニック、選手が小学校訪問するスクールギラヴァンツ等の地域貢献事業の拡大に努め、財務規模は4億円台から倍の8億円台へ、地域貢献事業も年間開催190回から324回、参加人数16,110人に拡大してきました。



これを機に商工会議所を中心とする地元経済界と行政がスポーツを街づくりの核の一つとするために支援体制を構築しました。

また、ギラヴァンツ北九州の活動内容に共鳴し、クラブの活動促進が地域貢献につながることや従業員の福利厚生の充実となることもあり、広告対象としてだけではなくクラブを支援して頂ける企業も増え、支援企業は500社を超えるようになりました。

トップチームは残念ながら現在J3リーグに所属していますが、2014年にはJ2リーグ戦でJ1昇格プレーオフ出場権の5位、天皇杯ではJ1チームを2度撃破してベスト8まで進出しました。本年1年でJ2復帰を果たし、地元選手比率を高めながら更に上位カテゴリー進出を目指しています。



2. ミクニワールドスタジアム北九州とギラヴァンツ北九州の今後について

2017年3月オープンしたミクニワールドスタジアム北九州の最大の特長は世界的に見ても優れた立地条件にあります。①交通機関が集中している主要駅から徒歩7分、②主要な商業施設や飲食店街、宿泊施設などが徒歩15分圏内に集中、③国際的な展示場



や会議場が隣接しており相互に補完機能がある、④周辺には2,000台を超える駐車場がある、⑤芝生公園が近接、海に隣接した自然環境があるなどの素晴らしい周辺環境に恵まれています。



さらに臨場感あふれるダイナミックスタジアムでもあります。ピッチとスタンドが大変近く、柱のない構造、優れた音響設備の効果もあり、観客はプレーを存分に肌で感じることができます。

また、席種も工夫されており、室内で食事しながらでも観戦できる特別な席があったり、仲間と大声で応援できる席など様々な状況に対応可能な各種の席が用意されています。

このような優れたスタジアムをホームスタジアムとするギラヴァンツ北九州が目指しているものは地道なホームタウン活動により市民や子どもたちがスポーツに親しみやすい環境づくりに努め、健康促進に寄与することや、北九州の皆さんにプロサッカー選手たちのレベルの高いプレーや白熱したゲームを提供し続けることによって、「観る楽しさ」や「応援することの楽しさ」を提供していくこと。そしてクラブの存在自体が北九州の誇りとなるようなクラブへと成長し続けていくことです。



そして次のような将来像(2030年)を描いています。

① プロサッカーで北九州のシンボルとなる

- アジア・チャンピオンズリーグ (ACL) ベスト4進出

② あらゆる世代の市民のために

総合スポーツクラブとなる

- サッカー以外での各種スポーツ (陸上競技・野球・ソフトボール・バレーボール・バドミントンなど) でもトップアスリート養成の事業主体となっている
- 各種スポーツを各世代へ普及させるため、健康スポーツ教室を市内各地で主体となって開催する

③ 地域と共に世界につながり、

世界にはばたくクラブとなる

- アカデミー出身の選手がヨーロッパや南米のクラブで活躍している
- クラブから日本代表が選出され、ワールドカップで闘っている



ギラヴァンツ北九州の歩み

2001年5月	三菱化成黒崎サッカー部を母体とし、新日本製鐵サッカー部の折出監督を迎え、クラブ「ニューウェーブ北九州」創立、九州リーグ(地域リーグ)参戦
2004年4月	ニューウェーブ北九州U-18発足、シニアスポーツ体験教室事業を開始
2007年	与那城ジョージ監督就任、九州リーグ初優勝、全国地域リーグ決勝大会準優勝
2008年	Jリーグ準加盟承認される、JFLへ参戦、天皇杯全国大会初出場3回戦進出、
10月	株式会社「ニューウェーブ北九州」設立、
2009年	チーム名・エンブレムを公募、新チーム名「ギラヴァンツ北九州」1試合平均観客数3,000名以上、広告収入1億円以上、本城陸上競技場観客席改修にて10,000席確保によりJ2ライセンス承認、JFL4位でJ2リーグ昇格
2010年	勝点15、19チーム中最下位、社名を株式会社「ギラヴァンツ北九州」に変更 KPEC観戦招待事業開始
2011年	三浦泰年監督を招聘、勝点58、20チーム中8位
2014年	柱谷幸一監督、勝点65、22チーム中5位ながらJ1ライセンス(スタジアム条件の)未取得のため昇格プレーオフ出場できず、天皇杯でもベスト8入り
2016年	勝点38、22チーム中最下位にてJ3リーグへ降格決定、柱谷監督退任
2017年	ミクニワールドスタジアム北九州竣工、3月12日よりJ3リーグ開幕

北九州活性化協議会はギラヴァンツ北九州を応援してきました

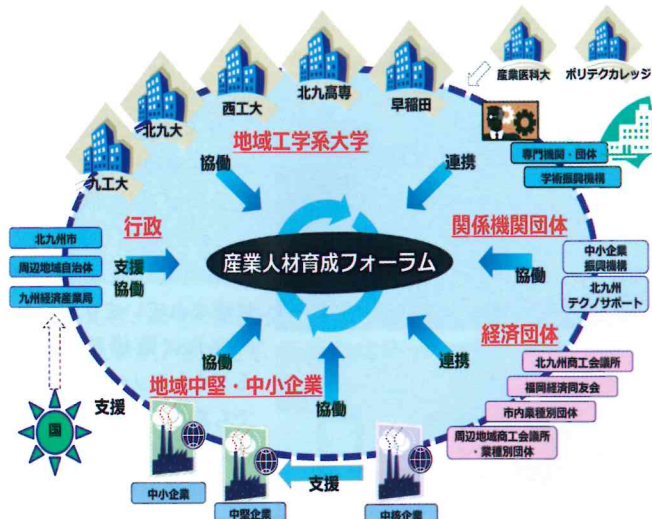
KPECは平成22年から7年間にわたり、「子どもに夢と感動を与え、街に誇りと活力を生み出す」ことを理念に掲げるギラヴァンツ北九州とともに、『スポーツ振興による青少年の健全育成事業』を行ってきました。

この7年間で66,330人の小中学生および保護者の皆様に無料で観戦招待しました。

今後もこれまで以上に、関連団体とも密接に手を携えながら、ギラヴァンツ北九州の未来像の実現に向けて、ギラヴァンツ北九州を応援していきます。

北九州地域産業人材育成フォーラム事業

「北九州地域産業人材育成フォーラム」は、20年後の北九州地域の産業力・産業基盤の強化を戦略的目標とし、地域の中堅・中小企業の経営力強化と工学系教育機関の高度人材の育成のための産業人材育成の地域システム(新しいソーシャルキャピタル)を構築することを目的に、青少年から経営・管理者までを対象にした、地域協働型の産業人材育成の仕組みづくりを推進しています。



■フォーラム事業が全国表彰を受ける!

地域における新事業・新産業創出を目的とする優れた企業支援の取り組みを評価、普及するための表彰制度である「第6回地域産業支援プログラム表彰事業(イノベーションネットアワード2017)」において、産業人材育成フォーラムが「優秀賞」を受賞しました。

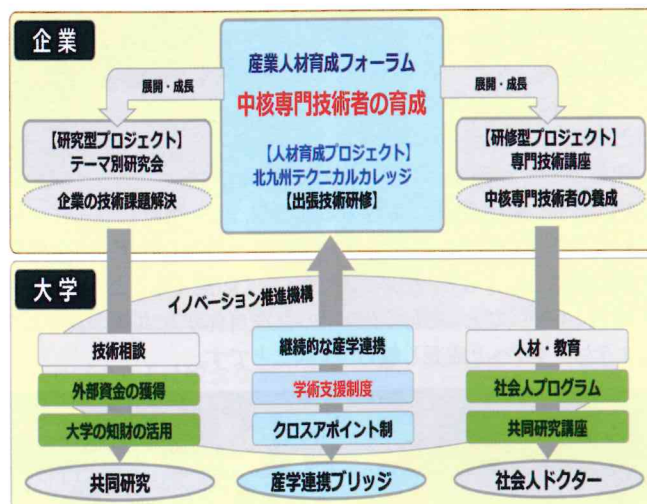


(受賞理由)

北九州地域の工学系教育機関と中堅・中小企業の連携を軸として、地域が一体となって産業人材育成の支援を行っている。産業集積の厚みを活かした人材育成を推進するだけでなく、企業の経営力強化に資する地域産業支援策となっており、産学官の連携強化による人材育成として、持続的に地域産業の活性化に貢献している。

■九州工業大学が「学術指導制度」を創設

H27年度より環境づくりを行って来た、テクニカルカレッジ実施のための九州工業大学における制度「学術指導制度」が設置され、地元中小企業の課題を個別に企業の中で解決すると共に、共同研究案件の開拓等に結びつけようとする新しい産学協働のシステムが本格的に稼働することになりました。



「もったいない総研」の活動

「もったいない総研」は、北九州市の様々な「価値あるモノ」をシビックプライドのコンテンツとして、その継承と活用を推進していきます。その一つとして、環境首都を目指す北九州市のエコマインドの普及・啓蒙のツールとしての北九州紙「えこっパー」のブランディングの向上に取り組んでいます。

■北九州紙「えこっパー」のブランドアップと普及・拡販

北九州市の環境政策とタイアップしたモニター活動を実施し、単品包装のえこっパーを発売するなど、「えこっパー」の更なるブランドアップと普及・拡販を推進しました。

☆えこっパー販売実績・平成28年度：年間約20万パック
15年間累計：約258万パック



北九州の企業人による小学校応援団の活動

小学校応援団は、平成24年度から支援事業を開始し、平成28年度は児童への出前授業、教職員・保護者への研修については、支援対象小学校100校に対して203件（平成27年度：支援対象小学校70校・129件）を実施した。（小学校応援団受付分）

■実施テーマ等の状況

区分	ジャンル	テーマ	企業・団体名	件数	区分	ジャンル	テーマ	企業・団体名	件数
出前授業	環境	けんこうなくらしと水のかかわり	TOTO(株)	3	出前授業	道徳	ルール、挨拶、マナー、言葉づかい	(株)ケイ・ピー・エス	15
		どんぐりの森づくり	TOTO(株)	4			大型紙芝居による情操教育「はくそう座」の出前公演	(株) SP-Link	7
		人々の健康や地球環境を考える小学生石けん教室	シャボン玉石けん(株)	6			高齢者の疑似体験を通じて高齢者や高齢社会について考える	社会福祉法人 ELDERS 年長者の里他	9
		ごみをいげんにかえるしくみ(4年社会科「ごみはどこへ」と連動)	新日鉄住金エンジニアリング(株)	5			「いのちの大切さ」	公益社団法人 誕生学協会他	9
		環境(地球温暖化、資源の可採年数など)	西部ガス(株)	1		生活・健康	「子供の運動能力と健康 ～皆で楽しくフィットネス体操～」	(株)イーベック貿易	1
		燃料電池教室	西部ガス(株)	3		理科	科学する心の啓発(博士が生んだ偉人・藤田博士の業績を学ぶ)	藤田記念会	1
		環境や生態系等について	タカミヤ・マリバー環境保護財団	2		国際理解	北九州発・世界建築旅行	(有)ゼムケンサービス	1
		生き物から学ぼう	(株)スピナ	1		体育	走り方教室	実業団陸上部(黒崎糖業、熊本川電機)及びVOB会(北実会)	50
		水辺の多様な命と自然の恵みを守ろう	三井住友海上火災保険(株)	2		国語	話し方・朗読について	元 NHK アナウンサー	11
		牛乳パックリサイクル出前授業	全国牛乳パックの再利用を考える連絡会	1	教職員研修	職業	〈憧れの職業紹介〉ゲームクリエイター(麻生情報ビジネス専門学校)、サッカー選手(株)ギラヴァンツ北九州、図書館司書(中央図書館)、パティシエ(有)こうのとり、保育士(北九州市保育士会)		5
	社会	生ごみのリサイクル～環境にやさしいしくみ～	楽しい(株) アサヒカルピスウェルネス(株)	1			お客様対応「クレームとCS(顧客満足) 対応」	TOTO (株)	7
		住み良いまちづくり「歩いて、見つけて、地図にしよう」	(株)ゼンリン	3			接遇、ビジネスマナー、電話対応、クレーム対応	(株)ケイ・ピー・エス	3
		食の安全・安心「食品を安心して食べてもらうための企業努力」	(株)かば田食品	3			地域包括ケアシステムと学校の役割	社会福祉法人 ELDERS 年長者の里	1
	社会・職業	薬物乱用防止、くすりの正しい使い方	公益社団法人北九州市薬剤師会	1			リスクマネジメント研修(災害時の教師、親としての対応)	トップ保険サービス(株)	3
		レゴブロックを使った設計体験	新日鉄住金エンジニアリング(株) NSプラント設計(株)	10			話し方、伝え手の準備の仕方、発声など	元 NHK アナウンサー	1
		自分をいかせる職業分野を知ろう	(株)夢をかなえる研究所	5		保護者(PTA)研修(親学)	子どもが伸びるコーチング(楽しいコミュニケーション術)	(有)コ・リード	1
		パティシエの仕事	(株)こうのとり、大原医療福祉製菓専門学校、グランダジュール	7			子ども～どう話すか。何が不安なのか	元 NHK アナウンサー	2
		保育士の仕事	北九州市保育士会	7			親子料理教室	日本厨師協会西日本地方本部	3
		自衛隊について(災害派遣)	自衛隊	4			食育で伸ばす心「親子料理講習会」	(株)千草	
	道徳・コミュニケーション	エンジニアの仕事	新日鉄住金エンジニアリング(株)	1			「いのちの大切さ」	公益社団法人 誕生学協会	1
		笑顔が生まれるコミュニケーション	(株)ニットー	2					

出前授業 エンジニアの仕事

新日鉄住金エンジニアリング(株)

僕は、全く夢が決まっていなかったけど、この話を聞いて夢が決まりました。その夢は父さんの仕事をつぐことです。夢を決めるためのヒントをくださってありがとうございました。僕は、この夢に向かってまじめにやる時はしっかりやって、おもしろい時はちょっとふざけたりしてメリハリをもって行動していきたいです。困った時が成長する時なので何度も何度もチャレンジして失敗した時が成長するチャンスなので、そこをしっかりと覚えて今度からの学校生活や日常生活でもいかして夢に向かってがんばっていきたいです。

教職員研修

お客様対応「クレームとCS(顧客満足)対応」

TOTO(株)

- 学校で起こる事例を取り上げていただき、実際に意見交換しながらよりよい対応の仕方について考えあうことができた。
- 「苦情ではお客様の信頼を失うことはない。対応の仕方でも信頼を失う。」という言葉が非常に心に残った。

出前授業 パティシエの仕事

(有)こうのとり、大原医療福祉製菓専門学校、グランダジュール

パティシエに限らず、色々なことを学ぶことができました。特に「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「整」は、パティシエに限らず普段の学校生活にいかせると思うので、実行していきたいです。また、「今日より明日、明日より明後日」の精神を忘れずに暮らしていきたいです。



北九州の企業の皆様方の小学校応援団へのご参加をお待ちしています。



1000人の夢寄金



平成24年9月18日市民の都市格(教育力・文化力)向上を目的とし活動をスタートした1000人の夢寄金事業も5年目を迎え、寄付事業および助成金事業を拡充してきた。寄付事業については1口3,000円を基本とした基本寄付を集める一般募金部会と具体的な目標を持ったグループを作り活動する中でメンバーを広げていくプロジェクト募金部会を設定した。平成28年10月チャリティーバザー事業として新たにクラフト・チクチクを開催した。また、助成事業については平成28年度1000人の夢寄金助成事業として助成申請16事業を受け、厳正な審査の結果9事業を選定した。

■寄付事業

・寄付金募集

昨年は平成28年4月から平成29年3月までの期間で244件、合計2,110,710円のご寄付をいただいた。平成24年10月夢寄金開始からの5年間の寄付累計件数551件、累計金額8,457,763円に達した。1口3,000円の基本寄付を中心に事業展開し、毎年の寄付徴収の推進や複数の香典返しなどの持込みもあり、年間の件数、金額ともに過去最高を更新した。また、寄付金募集方法の多様化を図るため銀行口座引落しによる寄付金募集を開始し、平成28年10月第1回引落しを実施した。

・寄付金イベント

初めてのチャリティーバザーであるクラフト・チクチクを開催した。

開催日：平成28年10月14日(金)～15日(土)

場 所：西部ガス展示スペース ヒナタ

約半年間の準備期間を経て開催。60人以上のボランティアの皆さんから手作りの作品を提供してもらい、またワークショップ8店舗、現地販売店4店舗出店。2日間で延べ200人以上の来場者があり盛況のうちに終了した。総売上高は300,000円を超え、全て夢寄金へ寄付いただいた。また、手作り作品の中から地元小倉織の生地を使った縫いぐるみである綿綿アニマルが誕生し、バザー終了後も人気商品として販売を継続することとなった。お客さまからの要望も多く、今年度第2回目を開催予定であり、チャリティーゴルフと併せ寄付事業の大きな柱になる見込みである。

第3回1000人の夢寄金・チャリティーゴルフは6月に実施し、前号Vol.61号にて報告済み。



西部ガス展示場 ヒナタ



会場内の様子



綿綿のシマウマ & 時々ヨコシマカバ

■第5回助成先の決定(平成28年10月1日)

・対象活動期間 平成28年10月1日から平成29年9月30日 ・応募総数 16件 ・助成先 9件 (助成金額合計 1,500,000円)
(第5回助成先)

助成先団体名	事業名	事業概要
西南女学院大学WILL	マンガで学ぶ日本の産業発展物語事業(炭鉱編)	北九州の産業発展(炭鉱)に焦点を当て所縁のある地域を見学する産業観光ツアーを企画・実施する。資料としてのマンガ作成とツアー実行の2本立て。昨年は八幡製鉄所設立編の実績あり(第2弾)。
日本イザイ協会	ウジェーヌ・イザイヴァイオリンコンサート開催	日本ベルギー友好150周年事業。北九州出身者を含む実力派若手ヴァイオリニストたちによるイザイ作品の演奏会。北九州市民が鑑賞し、音楽的な教養を高める。
子ども食堂ハっちゃん家	子ども食堂事業 ハっちゃん家(食育関連)	食育関連事業。「孤食」「ネグレクト」や「子どもの貧困」など現代の子どもたちが抱える問題に対し、地域が一体となり子どもたちを食でサポートする活動。
NPO法人かんかんむら	NPO法人 かんかんむら幼児園 創立10周年記念事業 ロバの音楽座公演実施	良質な音楽に親しむことによる子どもたちの発育を支援する。当幼児園は1996年自主保育の形で事業開始、20年近く幼児教育に携わっている。
GALLERY SOAP	GALLERY SOAP 20周年記念イベント	設立20周年記念イベント開催。展覧会、シンポジウム、音楽イベント等を開催予定。期間2017年4月1日～8月27日。20周年記念企画によりGALLERY SOAPの活動や北九州を広く国内外にアピールする。
北九州ディスカバリーの会	句画集「杉田久女101句」の発刊	今回の企画は杉田久女に焦点を当て、句画集「杉田久女101句」の発刊、パネル展開催、久女の生き様について講演会を開催。
NPO法人 学研都市留学生支援ネットワーク	外国人留学生による男茶会【チーム茶道2016～日々新たに、又日に新たなり～】実施	日本の伝統文化である「茶道」を通して、北九州市民と留学生たちが相互理解を含め、多文化共生への未来を拓く国際交流事業とする。今年で10年目となる事業。
荻野 衣美子	平松町アーカイブ	映像を使った小倉平松地区の埋もれつつある歴史・文化の掘り起しとアーカイブによる保存・継承を実践していく活動。
リバーリンクプロジェクト実行委員会	日韓文化交流事業	日韓アーティストによるコラボレーションとシンポジウムの実施。平成28年10月韓国・公報文化院にて開催予定。

■寄付のお願い

1000人の夢寄金事業の趣旨及び寄付状況等をホームページ、facebookでお知らせしています。

夢寄金ホームページURL (<http://www.kpec.or.jp/yume>)

夢寄金 facebook URL (<http://www.facebook.com/kpecyume>)

今後とも皆様のご支援をお願いいたします。

■助成金についてのお知らせ

平成26年度から当分の間、助成金募集を年1回とさせていただきます。

助成募集期間 7月1日～31日

事業対象期間 10月1日～翌年9月30日

北九州イノベーションギャラリー事業

北九州イノベーションギャラリーでは、官営八幡製鐵所の世界文化遺産登録の紹介とあわせて、当地固有の歴史的風土と、そこに蓄積してきた「人材」「技術」「産業遺産」の3つの資産を活用し、企画展の開催や市民セミナー・見学ツアー等様々なイベントを意欲的に実施しました。

■平成28年度の主な実績

利用者数	66,218名 (目標達成率 101.9%)
企画展観覧者数	21,949名 (目標達成率 118.6%)
教育プログラム参加者数	17,267名 (目標達成率 143.9%)

■企画展示に関する事業

様々な視点でのイノベーションをテーマした企画展、及び特別展を開催しました。

春企画展	時を刻む ～かたちになった人類の英知
夏企画展	ふれる!あそぶ!まなぶ! いっしょに楽しむ ～デジタルワンダーランド
秋企画展	未来へ夢はずむ ～ゴムのちから展
冬企画展	磨き抜かれた職人の技 ～北九州技の達人展



春企画展



夏企画展



秋企画展



冬企画展

特別展	KIGS倶楽部帆船模型クラブ セーリングシップ作品発表展示会
特別展	北九州総合デザイナー協会 30周年共同企画 四季を切り撮る技 ～坂本マスオ写真展
特別展	北九州総合デザイナー協会&KIGS 北九州デザイナーズコラボレーション展

■教育普及に関する事業

(1) フォーラムの開催

次世代のイノベーションを担う人材育成や、若手技術者等新たな顧客層の開拓を目的として、時代の流れに即したテーマでイノベーションフォーラム、地域ものづくり未来フォーラムを開催しました。

① イノベーションフォーラム

テーマ：「人を楽しませる『しくみ』の話」

講師：中村 俊介

(株)しくみデザイン代表取締役

② 地域ものづくり未来フォーラム

テーマ：「ファブ施設とメーカースペースの
これまでとこれから」

講師：田中 浩也

慶應義塾大学 環境情報学部 教授



(2) 技術革新セミナーの開催

現在、世の中の大きな潮流となっているコンピュータ技術をテーマに技術革新セミナーを2回開催しました。

① 未来をひらくスーパーコンピュータ～「京」、そしてその先へ～

辛木 哲夫／理化学研究所 計算科学研究機構

② 人工知能のインパクト ～人と社会の未来を考える～

小林 雅一／(株) KDDI 総合研究所



(3) デザインセミナー&フェアの開催

① 「デザインができること、これからのデザイン」

② 「韓国伝統パッチワーク ポジャギの制作」

③ 「地域デザインを通して持続可能な地域づくり」



(4) デジタル工房関連

ものづくりの新たな取り組みとして最新のデジタル工作機材を導入したKIGSデジタル工房を7月にオープンし、その機能を活用した各種教育プログラムやワークショップを積極的に開催しました。また、10月からは会員制度を導入し、会員向けの一般開放を開始しました。これまでに無い新たな利用者層の開拓の一翼を担うことが期待されています。



(5) その他

①市民セミナー

- 1) 「発電プラントの動脈を操る～高温高压バルブの開発物語」
- 2) 「小倉組子コースターづくりⅠ・Ⅱ」
- 3) 「幕末のトップを走った科学・技術」

②北九州マイスターセミナー

北九州マイスターによる各種講習会の継続とともに、青少年がマイスターの技術に直接触れることのできる講座も開催しました。



③各種連携事業等

10周年記念を迎えた“たたら製鉄”をはじめ、飛行ロボットクラブ、技術士会等との共催事業、東田3館連携による東田サマースクールや世界一行きたい科学広場等も開催しました。

■調査研究に関する事業

産業技術の保存と次世代への継承を目的として、国立科学博物館、技術士会などと連携し、自主調査研究を行うとともに共同研究や委託研究を行いました。また、平成27年度に実施した調査研究の報告会を開催しました。

3.1 調査研究

- ①「北九州における耐火物技術の歴史と発展」
黒崎播磨(株)に委託し、報告書を作成。
- ②「天然及び合成ゴムの技術的歴史と発展」
日本ゴム協会九州支部に委託し、報告書を作成。
- ③「時計技術の系統化調査」
国立科学博物館と共同研究し、報告書を作成。

3.2 調査研究報告会

- ①「コークスの系統化調査」
報告者：中村正和（元国立科学博物館主任調査員）
- ②「北九州における鋳造技術の歴史と発展」
報告者：宮田守次（技術士）他3名
- ③「北九州における高温・高压バルブ技術の歴史と発展」
報告者：濱田信善（岡野バルブ製造（株））

■映像・図書収集及び公開に関する事業

イノベーション・産業技術・デザインに関する図書および企画展と連動する図書の他、北九州企業の社史を積極的に収集すると共に、イノベーションに関する映像を制作しました。

①図書の購入数

1,183冊（書籍850冊、雑誌333冊）

②映像の制作

黒崎播磨株式会社の主力事業である、鉄づくりに不可欠な耐火材の技術開発を取り上げ、一般市民にも分かり易い技術革新物語として「鉄の進化を支えた炉材革命」(26分)を制作しました。





KPEC 平成29年度事業計画



公益目的事業 1

北九州市地域の活性化に関する調査・研究を行うとともに、行政及び関係団体と活性化施策の総合的な調整を行うことによって、北九州地域の発展に寄与することを目的とした事業。

1. “もったいない”を未来に引き継ぐ事業 (もったいない総研事業)

KPECの創立10周年事業として創設した「もったいない総研」の運営理念を踏まえた地域活性化事業の企画、開発及び事業化を行う。

- 1) 「北九州紙えこっパー」の普及に関する企画・研究の実施
- 2) “もったいない”の概念を踏まえたシビックプライドの醸成事業

2. 産業人材を育成する事業 (北九州産業人材育成フォーラム事業)

地元理工系大学・高専と中堅・中小企業との協働による産業人材の育成と、企業の経営力強化と雇用環境の改善を図るため、「北九州地域産業人材育成フォーラム」を編成し、青少年から社会人に至る産業人材育成の地域システム創りとその持続的発展の仕組み創りを進める。

- 1) 高度人材育成プログラムの企画、運営
- 2) 社会人育成プログラムの企画、運営
- 3) 青少年育成プログラム事業の企画、運営
- 4) 産業人材育成の地域クラスター形成の環境整備

3. 次世代を担う人材を育成する事業 (北九州の企業人による小学校応援団事業)

北九州市内の企業や経済団体が結束して、将来を担う子どもたちの健全育成を目指し児童、教員および保護者を対象に、学習支援（出前授業、見学受け入れ）、研修支援（講師派遣、体験研修受け入れ）、PTA活動支援などの教育支援に取り組む。

- 1) 支援対象校の拡大
支援対象校を100校（28年度）から北九州市内の全校（131校）に拡大
- 2) 支援事業の充実
企業等の協力を得て、児童を対象とした出前授業、教員や保護者（PTA）向けの研修を継続実施すると共にテーマの更なる拡充を図っていく。

4. 都市格（文化力・教育力）を向上する事業 (1000人の夢寄金事業)

教育と文化を、都市格（都市の品格）を高める重要な基本要素と考え、真に魅力あるまちづくりを進めて行くために、教育や文化的活動を行う法人・個人・団体に対して活動費用を助成する「1000人の夢寄金」（以下、夢寄金）事業を推進する。

- 1) 「1000人の夢寄金」募金事業
- 2) 「1000人の夢寄金」助成事業
- 3) 広報・プロモーション事業の実施

5. まちづくり推進事業

北九州地域の活性化に資する各種事業の企画、開発及び運営に必要な研究・調査と事業の運営基盤となる産学官民の連携軸の構築等のまちづくり推進事業を実施する。

- 1) まちの活性化推進事業（調査・研究）
- 2) まちの活性化に関する情報発信事業

公益目的事業 2

北九州イノベーションギャラリー指定管理者事業

北九州地域の「人材」「技術」「産業遺産」の3つの資産を活用し、新たなイノベーションへとつながる（1）人材活用・育成、（2）産業技術の保存継承（技術の知と心の継承）、（3）技術革新（イノベーション）の機会の創出を行い、人・知を結集し、北九州の発展に必要な新産業を生み出すとともに、北九州イノベーションギャラリーを媒体とした技術教育を通し、世界に貢献できる人材の育成を目的とした北九州イノベーションギャラリー指定管理者事業。

今年度は、開館10周年を迎え、かつ、第三期指定管理期間（H27年～H32年）の3年目に当たり、「北九州地域産業人材育成フォーラム事業」等との連携を図りながら、新たにものづくり教育・技能教育分野の拡充等の環境づくりを進める。

- 1) 教育普及に関する事業の企画、運営
- 2) 調査研究に関する事業の企画、運営
- 3) 企画展示に関する事業の企画、運営
- 4) 映像・図書等収集及び公開に関する業務の企画、運営

法人運営事業

「公益法人法」を遵守することにより、法人運営を適切に維持・管理し、かつ、当協議会の公益目的事業を円滑に遂行するために必要な、組織運営体制および財務基盤の強化を図る。

1. 組織運営体制の強化

KPEC創設趣旨と地域における組織的位置づけの再確認を行い、これに対応した組織体制の構築を進める。

2. 財務体質改善の推進

指定管理事業を含むKPECの経営管理について、コスト削減を図ると共に、新しい収入財源の開拓、研究等を進め、中長期的な視点で、経営体質の改善、強化を進める。

公益財団法人の組織的環境を活かした「寄付事業」の確立のための体制整備を行う。

3. 会員募集と会員サービスの向上

- 1) 会員募集の強化
賛助会員募集を行い、財務面、運営面双方の経営体質強化を図る。
- 2) 会員サービスの向上
KPECが実施または支援する地域活性化事業への案内や講演会開催等の情報提供を行い、会員との協働による推進体制を構築する。

KPECの成り立ち ~設立からの10年(平成元年~平成11年)~

平成元年、KPEC誕生!

北九州市は昭和60年代に入り、鉄冷えや不況により沈滞していました。

米国ピッツバーグ市もかつて、昭和45年頃より鉄鋼不況に陥り、工場は相次いで閉鎖に追い込まれ、街には大量の失業者があふれていました。しかし、10年後、鉄鋼業に依存していた従前の産業構造から脱却し、ハイテク、保健、教育、金融、サービス業を中心とした地域経済へと移行することにより、活気を取り戻すことができました。

昭和61年2月、NHK主催の討論集会『あすを語ろう』で、北九州市を「米国の鉄の都・ピッツバーグの再生を手本にしたらどうか」と提言があり、北九州青年会議所や北九州商工会議所がピッツバーグに視察団を派遣しました。

ここで、ピッツバーグ市を「煙の街」から「全米一の住みよいまち」への再生を担った民間組織「アレゲニー地域開発協議会」を手本にした組織が必要との意見が纏まりました。

こうして、昭和62年12月 北九州商工会議所、(社)西日本工業倶楽部、(社)北九州青年会議所、(社)北九州青年経営者会議の経済4団体を構成母体として「北九州協議会設立準備会」が発足し、翌年に地元企業・団体および個人の皆様998名から6億3千万円の寄付を賜り、任意団体『北九州活性化協議会 (KPEC)』が発足し、平成元年4月「財団法人北九州活性化協議会」として福岡県から認可を受け、誕生しました。



平成元年4月 財団法人設立シンポジウム

『KPEC』とは、Kitakyushu Prosperity Enrichment Council の略称であり、「北九州をさらに繁栄させるための組織」という願いを込めており、市民の声、若い世代の力、大学・企業・経済団体の英知と活動力をひとつに纏め、連携軸としての役割を担い、行政や関係団体との協働で、北九州の確かな未来づくりに向かって行動する団体です。

KPEC

KITAKYUSHU PROSPERITY ENRICHMENT COUNCIL

平成元年~平成11年までの主な活動

KPECは、北九州活性化の基礎作りや北九州新産業構築に向けた各種の研究および提言を行ってきました。

<主な事業>

■「北九州学術・研究都市整備構想」(現・北九州学術研究都市)に関し、「企業の求めるものは何か」について地元企業へのアンケートを実施しました。

■「産業科学博物館基本構想」(現・北九州イノベーションギャラリー)を策定し、北九州市へ提言しました。

■「ウェルカム・キャンペーン」を実施しました。

①ウエルカムキャンペーンのマスコットキャラクターとして「ウェルカムドン」がデビューしました。



②「百万人のウエルカム・クリーン作戦」を実施しました。

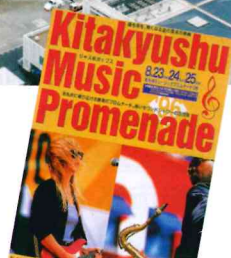
■「国際鉄鋼彫刻シンポジウム」を開催し、空き缶回収の市民運動と現代アートの融合を図りました。

■「新北九州空港推進協議会」を設立し、各種シンポジウムやセミナーを開催し、現・北九州空港の礎をつくりました。

■「北九州ミュージックプロムナード」を開催し、北九州に文化の風を起こしました。

■高齢者福祉事業の推進として「福祉用具研究開発センター」や「北九州福祉サービス(株)」を設立しました。

■10周年記念事業として「もったいない総研」事業を始動しました。



KPECの寄付事業を立ち上げました!

KPECは、北九州の企業・個人・団体のまちづくりの志を束ねてつなぎ、北九州を今よりもっと「住みたくなるまち」「住んでよかったまち」に育てる公益活動を行っています。ご寄付は、地域に貢献できる社会的価値の高い行動です。皆さまからのご寄付を心よりお願い申し上げます。

以下の3つの方法でみなさまからのご寄付を賜っています

- 方法1** 寄付金の使い道に指定をいわず、KPECの事業活動全体に賜るご寄付です。
- 方法2** 寄付金の使い道や管理運営方法等をご指定いただいて賜るご寄付です。
- 方法3** KPECが運営しております「1000人の夢資金」に対して賜るご寄付です。

例えばこんな時にご寄付を!

- 社会貢献をしたいと思った時の贈り先として
- 結婚、新築、誕生、入学、卒業などのアニバーサリーとして
- 遺贈(香典返し等)または相続による所得財産のご寄付として
- 会社の周年記念などのご寄付
- 文化祭やバザーなどの収益金をご寄付 など



(株)大分製紙様よりえこっパーの販売数に応じた寄付金を賜りました。(平成28年8月)

公益財団であるKPECへのご寄付は、税法上の優遇措置が適用されます。

KPECは、「公益財団法人」として認定を受けていますので、KPECへの寄付金には、特定公益増進法人としての税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除が受けられます。

また税額控除についても行政庁の証明を取得していますので、個人様の寄付については「税額控除」と「所得控除」のいずれか一方を選択いただくことができます。

寄付控除を受けるには確定申告が必要です。勤務先等で実施される年末調整では寄付金控除を受けることはできませんのでご注意ください。

●個人の場合●

所得控除の場合

◇寄付金のうち**2,000円を超える額**が
寄付控除の金額になります。

所得税

※ただし、寄付総額が年間課税所得の40%までとなります。

住民税

◇寄付金のうち、**2,000円を超える額の10%**が**住民税から控除**されます。
※ただし、寄付総額は年収の30%までとなります。

相続税

◇相続した財産をKPECへ寄付した場合、寄付した財産には**相続税が課税されません**。
相続税の申告期限は亡くなってから10ヶ月以内とされています。

税額控除の場合

◇寄付金のうち**2,000円を超える額の40%**が
税額控除の金額になります。

※ただし、軽減額は所得税額の25%が控除限度となります。

●法人の場合●

公益財団法人に対する寄付金は、一般の寄付金の損金算入限度額とは別枠で、その寄付金の合計額と寄付金の損金算入限度額のいずれか少ない金額が損金に算入されます。

(法人税法第37条第4項/法人税法施行令第77条第1項第1号)

損金算入限度額(1年決算法人の場合)(平成24年4月1日より適用)

計算式: (資本等の金額×0.375%+当該事業所得×6.25%)÷2

※資本等の金額: 資本の金額と資本積立金の合計額

※詳しくは、最寄りの税務署(住民税の場合は住民税を交付する自治体)で必ずご確認ください。

見て!さわって!“エンターテインメント・アトラクション”を体感しよう!!

今夏開催予告



いわゆる大がかりなマジック(手品)ではなく、俗にいう「トリックアート」に類する、“子ども向けのふしぎで楽しい知育の世界”です。

ほたて

なに?

さかさまに見ると...

やまは

もしかして...

なぜ?

平成29年 7月22日(土)~10月1日(日)

会場 北九州イノベーションギャラリー 企画展示ギャラリー

開館時間 平日 午前9時~午後7時/土・日・祝日 午前9時~午後5時 ※7/24~8/28の月曜日は午後5時まで

休館日 月曜日(但し、7/24~8/28は無休。9/18は開館、翌19日休館)

観覧料 大人500円 小中学生250円 ※30名以上は2割引 ※障害者無料 ※年長者割引あり
「夏休みこども文化パスポート」対象事業

□主催 北九州市、北九州イノベーションギャラリー □企画監修 伊藤文人 □企画協力 (株)風雅舎 □企画制作 東映(株)



交通アクセス

■ JRをご利用の場合

JR小倉駅から鹿児島本線快速にて約10分、「スペースワールド駅」下車、徒歩5分。

■ お車をご利用の場合

国道3号線「西本町1丁目」交差点をスペースワールド方面へ。

「東田第一高炉史跡」方面に最初の信号を右折。

「いのちのたび博物館」前の「東田博物館3館共同駐車場」(有料)をご利用ください。

北九州イノベーションギャラリー 産業技術保存継承センター
福岡県北九州市八幡東区東田2-2-11 Tel: 093 663 5411 Fax: 093 663 5422

